

令和6年度いきいきちばっ子オリジナル弁当コンクール

千葉県教育委員会では、食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」を用いた学習の一つに、子どもたちが自ら弁当づくりを体験することにより、食への関心を高め、食べることを見つめ直し、食生活の改善を図るために、小学校5・6年生を対象にオリジナル弁当コンクールを実施しています。

今年度のコンクールでは、個人の部で優秀賞5点、優良賞16点、佳作119点。団体の部では、優秀賞1点、優良賞3点、佳作6点が選ばれました。県のホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。

個人の部 優秀賞



柏市立柏第五小学校 6年

塩野 大智さん 「フレー！フレー！姉弟！」

このお弁当は姉と弟に作りました。姉には「受験で合格して良い春を迎えてほしい」、弟には「たくさん食べて遊んで成長してほしい」という応援の思いを込めました。

弟でも食べやすい献立を考えたり、千葉県産の食材を探して買い物をしたり、盛り付けの彩りを考えたりする準備の作業も楽しかったです。姉弟に喜んでもらい、さらに貰いただけでとても嬉しいです。これからも料理を作って、食べてくれた人を笑顔にしたいです。



松戸市立上本郷小学校 6年

森田 瑛喜さん 「千葉の特産品は落花生だよ!!」

栄養たっぷりピーナッツ弁当

僕は、千葉県の特産品の落花生を千葉県内外の人にアピールするお弁当を作りました。

落花生を使った料理を調べて、主食にもおかずにも落花生を入れました。落花生の他にも千葉県産の食材を使うことで栄養バランスや彩りも考えました。また、僕は絵を描くのが得意なのでお弁当のデザインを工夫して、見た目でも落花生をアピールできるようにしました。

たくさん工夫したお弁当で優秀賞を受賞でき、とても嬉しいです。



四街道市立中央小学校 5年

平林由理さん 「新鮮!! とれたて野菜でチバニアン弁当」

ぼくは、料理が好きです。それは、自分の作りたいものがアレンジできる自由度があるからです。また、となりのおじさんが地元の朝市で売っている野菜は、新鮮でとてもおいしいです。今回は、その野菜と、弟がたまひまかいて学校で育てたおくらを組み合わせ、カラフルに仕上げました。昔の人たちも、千葉の野菜を使って工夫しながら食事をしていたのかな、と思いました。

チバニアンに想いをのせて 料理最高!!



千葉市立稲丘小学校 6年

徳浪 凜さん 「栄養たっぷりまごわやさしい夏弁当」

お世話になっている祖父母に栄養たっぷりで夏を感じられるようなお弁当を届けたいと思い作ったので、優秀賞に選ばれてとてもうれしいです。地産地消を心がけ「まごわやさしい」を全て取り入れました。いろいろのよいトマトやきゅうりをピクルスにすることによって、ミネラルやビタミンを効率よく吸収できるように工夫しました。これからもみんなが喜ぶ栄養満点のお弁当を作っていきます。



松戸市立松ヶ丘小学校 6年

石川 紘太郎さん 「チバリンピック」

僕は千葉県の食材を使い、弁当のメニューをたくさん考えました。今年はオリンピックが行われた年なので、家族五人に五輪(五品)を僕のメニューから投票してもらいました。一番人気は、さんが焼きでした。鰯の三枚おろしを作ったとき、包丁の入れ方がとても難しく大変でしたが、なんとか作り上げることができました。苦労して作った弁当を家族みんなが笑顔で食べている姿を見て、また作りたいと思いました。

団体の部 優秀賞



千葉市立誉田東小学校 5年

朝比奈 花音さん

飯田 陽奈子さん

「千葉県産の野菜を使ってえいようたっぷり
ちーばくん弁当!!」

私たちは、千葉県に住んでいるので千葉県のキャラクターのちーばくんを参考にしてお弁当を作りました。このお弁当は、千葉県産の野菜などをできるだけ使って栄養たっぷりのおいしいお弁当になるよう工夫しました。特に、ちーばくんの形や顔のパーツを全部手作業で丁寧に作りました。また、りんごをうさぎの形にしたのも1つの工夫だと思います。

千葉県教育委員会